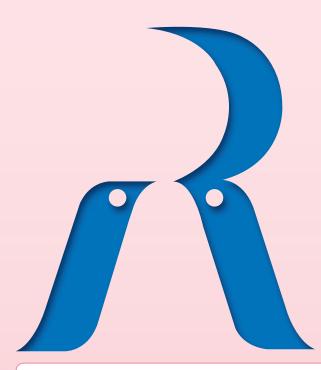
静岡ろうきんの現況

DISCLOSURE

上半期 2014.4.1~2014.9.30



当金庫は、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関として、皆様からの信頼にお応えするために 健全経営に努めています。本ディスクロージャーは、直近の経営内容を多くの皆様に知っていただくために、2014年 9月末時点の経営情報を取りまとめ、自主的にご報告するものです。

金額・比率の表示方法のご案内

- ・ 各表に表示した金額単位未満の端数を切り捨てて記載しています(ただし、「金融再生法ベースの資産査定の状況」については、金額単位未満を四捨五入しています)。
- ・ 各表に表示した諸比率の小数点第3位を切り捨てて第2位までを記載 しています。
- · 小計・合計等の合算は、円単位まで算出し、金額単位未満を切り捨て て記載しています。したがって、内訳の合計と小計欄・合計欄の金額
- が一致しない場合があります。
- ・ 金額・比率とも該当数値がない場合は「一」、また該当数値はあるもの の表示単位に満たない場合は「0」で表示しています。
- ・ 当金庫では、9月期決算は法定されていないため、会計監査人の監査 を受けておりません。表示の計算値等は、内部規程に基づき3月期決 算に準じて算出しています。

静岡県労働金庫

■2014年度上半期事業概況

◆静岡ろうきんの概況 (2014年9月末)

■本店所在地

静岡市葵区黒金町5番地の1

1953年3月1日

■創立 ■出資金 39億円

■店舗数 27店舗*

※ インターネット静岡支店を含みます。

■常勤役職員数

■団体会員数

■間接構成員数

683人 2,547会員 592,983人



◆預金・融資・預かり資産の状況

●預金

預金残高は、2014年度期首から77億46百万円増加(0.78%増) し、9.885億26百万円となりました。年間増加目標額70億円に対し、 110.67% の達成状況となっています。

●融資

融資残高は、6,350億42百万円と期首残高を39億91百万円下回 りました。

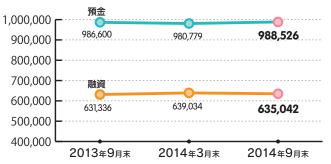
●預かり資産

2014年度上半期の預かり資産(国債・投資信託・個人年金保険)販 売額は、37億90百万円となりました。年間販売目標額70億円に対し、 54.15% の達成状況となっています。

◆預金・融資残高の推移

(単位:百万円)

(単位:百万円)



※ 預金残高に譲渡性預金を含みます。

◆損益の状況



2014年9月末の当期純利益は、 12億円(前年同期9億5百万円) となりました。

| | | | | | | (単位:日月日) |
|---|----|----|---|----------|----------|----------|
| | | | | 2013年9月末 | 2014年9月末 | 増減 |
| 業 | 務 | 純 | 益 | 1,285 | 1,262 | △22 |
| 経 | 常 | 利 | 益 | 1,203 | 1,194 | △9 |
| 当 | 期約 | 电利 | 益 | 905 | 1,200 | 294 |

◆貸借対照表

| 科目 | 2013年9月末 | 2014年9月末 |
|-------------|-----------|-----------|
| (資産の部) | | |
| 現 金 | 7,896 | 7,061 |
| 預 け 金 | 302,504 | 305,818 |
| 有 価 証 券 | 119,250 | 116,509 |
| 貸 出 金 | 631,336 | 635,042 |
| 手 形 貸 付 | 8,900 | 6,106 |
| 証 書 貸 付 | 615,757 | 622,443 |
| 当 座 貸 越 | 6,678 | 6,493 |
| その他資産 | 10,294 | 10,114 |
| 有形固定資産 | 9,888 | 9,264 |
| 無形固定資産 | 14 | 14 |
| 繰延税金資産 | 1,730 | 1,314 |
| 債 務 保 証 見 返 | 4,428 | 3,700 |
| 貸倒引当金 | △ 76 | △ 74 |
| (うち個別貸倒引当金) | (△1) | (△1) |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 資産の部合計 | 1,087,267 | 1,088,767 |
| | | |

| | | (+12.17) |
|--------------|-----------|-----------|
| 科 目 | 2013年9月末 | 2014年9月末 |
| (負債の部) | | |
| 預 金 積 金 | 972,156 | 974,230 |
| 普 通 預 金 | 269,612 | 275,097 |
| 定期預金 | 700,183 | 697,895 |
| 定期積金 | 137 | _ |
| その他の預金 | 2,223 | 1,237 |
| 譲渡性預金 | 14,444 | 14,296 |
| 借 用 金 | 11,238 | 10,038 |
| その他負債 | 5,176 | 4,428 |
| 代理業務勘定 | 0 | _ |
| 賞与引当金 | 413 | 413 |
| 退職給付引当金 | 3,532 | 3,760 |
| 役員退職慰労引当金 | 43 | 50 |
| その他の引当金 | 249 | 251 |
| 債務保証 | 4,428 | 3,700 |
| 負債の部合計 | 1,011,683 | 1,011,169 |
| (純資産の部) | | |
| 出 資 金 | 3,938 | 3,912 |
| 利益剰余金 | 71,713 | 72,628 |
| 処分未済持分 | _ | △4 |
| 会員勘定合計 | 75,651 | 76,536 |
| その他有価証券評価差額金 | 1,025 | 2,190 |
| 繰延ヘッジ損益 | △ 1,093 | △ 1,129 |
| 評価・換算差額等合計 | △ 67 | 1,060 |
| 純資産の部合計 | 75,584 | 77,597 |
| 負債及び純資産の部合計 | 1,087,267 | 1,088,767 |

◆損益計算書

| ••••• | • • • • • | • • • • • • | •••• | • | (単位 : 百万円) |
|-------|--------------|-------------|-----------|---|-----------------------------|
| | 科 | 目 | | 2013年4月1日から 2013年9月30日まで | 2014年4月1日から 2014年9月30日まで |
| 経 | 常 | 収 | 益 | 8,678 | 8,240 |
| 資 | 金道 | ■用 4 | 又益 | 7,796 | 7,455 |
| 役 | 務取 | 引等場 | 又益 | 365 | 345 |
| そ | の他 | 業務 | 又益 | 514 | 437 |
| そ | の他 | 経常 | 又益 | 1 | 2 |
| 経 | 常 | 費 | 用 | 7,475 | 7,046 |
| 資 | 金訓 | 直達 | 見用 | 486 | 434 |
| 役 | 務取 | 引等 | 費用 | 1,018 | 1,059 |
| そ | の他 | 業務賽 | 費用 | 1 | 20 |
| 経 | | | 費 | 5,969 | 5,527 |
| そ | の他 | 経常資 | 費用 | 0 | 4 |
| 経 | 常 | 利 | 益 | 1,203 | 1,194 |
| 特 | 別 | 利 | 益 | 10 | 476 |
| 特 | 別 | 損 | 失 | 1 | 5 |
| 税引 | 前当 | 期純和 | 利益 | 1,212 | 1,665 |
| 法人和 | 法人税、住民税及び事業税 | | | 295 | 482 |
| 法ノ | 人税€ | 等調素 | と額 | 11 | △ 18 |
| 当 | 期約 | 吨 利 | 益 | 905 | 1,200 |



◆自己資本比率の状況

(単位: 百万円) 2014年9月末 自己資本の構成に関する主な開示事項 2014年3月末 (概算値 76,609 (1) コア資本に係る基礎項目の額 75,436 (-)(経過措置による算入額) (-)コア資本に係る調整項目の額 (口) (10)(10)(経過措置による不算入額) 自己資本の額(イ)-(ロ) (11) 75,436 76,609 リスク・アセット等の額の合計額 $(\underline{-})$ 465.481 476,665 (△9,348) (経過措置による算入額) $(\triangle 9.332)$ 自己資本比率(国内基準) (ハ)/(ニ) 16.20% 16.07% (畄位: 百万田

| | | (単位, 日月日) |
|-------------------------|----------|-------------------|
| 定量的な開示事項 | 2014年3月末 | 2014年9月末 (概算値) |
| 信用リスクに対する所要自己資本の額 | 17,617 | 18,064 |
| オペレーショナルリスクに対する所要自己資本の額 | 1,002 | 1,002 |
| 単体総所要自己資本額等 | 18,619 | 19,066 |



当金庫の自己資本比率は2014年9月末現在 16.07%となっており、 国内基準の4%を大きく 上回る水準を維持して います。

- (注)・左表2014年9月末時点の自己資本比率は、内部規程に基づき3月末本決算に準じて算出した概算値です。
 - ・2014年3月末よりバーゼルⅢを適用した自己資本比率規制 告示 (平成18年金融庁・厚生労働省告示第7号、最終改正: 平成26年3月28日)に示された基準により計算しています。

【参考】 2013年9月末概算値 (旧告知、いわゆるバーゼルIIにより算出) 自己資本比率 (国内基準) 16.38% / TierI 比率 16.36%

◆債権管理の状況

総貸出金に占めるリスク管理債権額の割合は、0.40%となっています。また、リスク管理債権に対しては、担保や保証機関の保証、貸倒引当金を引き当てることにより債権保全を図っています。

●リスク管理債権の状況

(単位: 百万円)

| | | | | 2013年9月末 | 2014年3月末 | 2014年9月末 |
|-----|------|-------|----|----------|----------|----------|
| 破 | 綻 | 先 債 | 権 | 82 | 52 | 70 |
| 延 | 滞 | 債 | 権 | 2,953 | 2,649 | 2,485 |
| 3 t | 」月以. | 上延滞債 | 権 | 49 | 3 | 4 |
| 貸 | 出条件 | 緩 和 債 | 権 | _ | _ | _ |
| 合 | | | 計 | 3,086 | 2,705 | 2,560 |
| 総 | 貸出 | 金 残 | 高 | 631,336 | 639,034 | 635,042 |
| 総貨 | 〕出金に | 占める害 | 一合 | 0.48% | 0.42% | 0.40% |

●金融再生法ベースの資産査定の状況

(単位: 百万円)

| | | | | 2013年9月末 | 2014年3月末 | 2014年9月末 |
|----|-------|----------|-----|----------|----------|----------|
| 破産 | 更生債権及 | びこれらに準ずる | 5債権 | 562 | 544 | 502 |
| 危 | 険 | 債 | 権 | 2,474 | 2,158 | 2,054 |
| 要 | 管 | 理 債 | 権 | 50 | 3 | 4 |
| (| 小 | 計 |) | (3,086) | (2,705) | (2,560) |
| 正 | 常 | 債 | 権 | 633,321 | 641,075 | 636,808 |
| 合 | | | 計 | 636,407 | 643,781 | 639,368 |

(注)「リスク管理債権」は貸出金のみを対象債権としていますが、「金融再生法ベース」では貸出金のほか債務保証 見返や与信関係未収利息、仮払金なども対象としています。

貸借対照表

計上額

299

2014年3月末

時 価

301

『愛用語解計

[リスク管理債権] 何らかの理由により、返済されない等の貸出金債権のことで、「破綻先債権」、「延滞債権」、「3カ月以上延滞債権」、「貸出条件緩和債権」があります。

【破綻先債権】借り手の自己破産などにより、当金庫が返済を受ける ことが困難になる可能性が高い貸出金のことです。

[延滞債権] 今後、上記の「破綻先債権」となる可能性が大きい貸出金、 あるいは法的・形式的な破産の事実は発生していないものの、実質的 には自己破産の状態に陥っている借り手の貸出金のことです。

【3カ月以上延滞債権】借り手に収入が入ってこなくなる(会社の業績不振等)などの理由で当金庫が元金または利息の支払いを3カ月以上受けていない貸出金(上記の「破綻先債権」、「延滞債権」を除く)のことです。

[貸出条件緩和債権] 貸出金利の減免や利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄など、借り手に有利となる取決めを行っている貸出金(上記の|破綻先債権」、「延滞債権」および「3カ月以上延滞債権」を除く)のことです(ただし、借り手に有利な条件であっても、再建・支援目的でなければ「貸出条件緩和債権」には該当しません)。

【破産更生債権及びこれらに準する債権】総与信額のうち、破産、 会社更生、再生手続などの事由により経営破綻に陥っている借り手 に対する債権およびこれらに準ずる債権のことです。

【危険債権】総与信額のうち、借り手が経営破綻の状況には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化して契約に従った債権の元本の回収と利息の受取りができない可能性が高い債権のことです。

【要管理債権】貸出金のうち、上記の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」と「危険債権」を除いた「3カ月以上延滞債権」と「貸出条件緩和債権」の合計額のことです。

【正常債権】総与信額のうち、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」および「要管理債権」を除いたもので、借り手の財政状態および経営成績に特段の問題がない債権のことです。

◆有価証券の時価情報

貸借対照表

計上額

399

2013年9月末

時 価

404

差額

●売買目的有価証券

保有しておりません。

●満期保有目的の債券

(単位: 百万円)

差

額

 Ω

2014年9月末

100

価

時

計上額

99

●子会社・子法人等株式及び関連法人等株式

子会社・子法人等株式及び関連法人等株式は、時価を 把握することが極めて困難と認められるため、下記「時価 を把握することが極めて困難と認められる有価証券の主 な内容および貸借対照表計上額」へ記載しています。

(注) ○時価は2014年9月末における市場価格等に基づいています。 ○時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表に含めておりません。

差額

●その他有価証券

方 債

(単位: 百万円)

| 取得原価 差 | 取得盾碼 | 44 44 LISS LI 67 | | 2013年9月末 2014年3月末 | | 類 2013年9月末 | | 米百 | 種 | |
|-----------|---------|-------------------------------------|----------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------|----------|
| | ᄱᄭᆉᅜᄤ | 貸借対照表計上額 | 差額 | 取得原価 | 貸借対照表計上額 | 差額 | 取得原価 | 貸借対照表計上額 | 大只 | 作里 |
| 105,955 3 | 105,955 | 108,982 | 1,951 | 104,629 | 106,581 | 1,427 | 113,262 | 114,690 | 券 | 債 |
| 21,927 | 21,927 | 22,705 | 610 | 21,560 | 22,171 | 492 | 21,583 | 22,075 | 債 | 囯 |
| 22,380 | 22,380 | 22,984 | 261 | 22,237 | 22,498 | 133 | 22,526 | 22,660 | 方債 | Ħ |
| 61,647 1 | 61,647 | 63,292 | 1,079 | 60,831 | 61,910 | 801 | 69,152 | 69,954 | 債 | 社 |
| 7,434 | 7,434 | 7,419 | △ 48 | 5,907 | 5,859 | △ 16 | 4,100 | 4,083 | つ他 | そ |
| 113,390 3 | 113,390 | 116,401 | 1,903 | 110,537 | 112,440 | 1,410 | 117,362 | 118,773 | 計 | 合 |
| | | 22,705 22,984 63,292 7,419 | 610 261 1,079 △48 | 21,560 22,237 60,831 5,907 | 22,171 22,498 61,910 5,859 | 492 133 801 △16 | 21,583 22,526 69,152 4,100 | 22,075 22,660 69,954 4,083 | 债 方债 债 D 他 | 世代を |

(注) 〇貸借対照表計上額は2014年9月末における市場価格等に基づく時価により計上したものです。 〇社債には、政府保証債、公社公団債、金融債、事業債が含まれます。 ○時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表に含めておりません。

●時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の主な内容および貸借対照表計上額 (単位: 百万円)

| 種 類 | 2013年9月末 | 2014年3月末 | 2014年9月末 |
|-------------------|----------|----------|----------|
| 性 類 | 貸借対照表計上額 | 貸借対照表計上額 | 貸借対照表計上額 |
| 子 会 社・子 法 人 等 株 式 | 70 | 70 | _ |
| 関 連 法 人 等 株 式 | _ | _ | _ |
| 非 上 場 株 式 | 7 | 7 | 7 |
| 合 計 | 77 | 77 | 7 |

お預かりした預金を融資としてご利用いただくまでの間、一時的に余裕資金としてその一部を有価証券等で運用しています。運用にあたっては、安全性を最優先し、収益性と流動性にも留意しています。



TOPICS

◆「地域福祉に役立宣言」フードバンクふじのくにへ車両寄贈

「NPO 法人フードバンクふじのくに」は、福祉事業団 体等が中心となり2014年5月に設立され、「食を通じ て人と人を結び、互いに助け合う社会づくり」を目指し て静岡県内で活動しています。フードバンクとは、企業 や個人から余剰食品やパッケージ破損等で販売できな いものの品質には問題がない食品を提供してもらい、 支援を必要としている福祉施設や団体にそれらの食品 を無償で提供する民間のセーフティネット事業です。

〈静岡ろうきん〉は「NPO 法人フードバンクふじのくに」 の設立に合わせて物資運搬用車両1台を寄贈しました。 寄贈車両は食品の回収・配送に広く活用いただきます。



明日のために 〈ろうきん〉が できること

フードバンクふじのくに 活動の様子

> 提供された食品は 静岡市内の倉庫で保 管・管理され、支援 を必要とする団体に 適正に配布されます。

◆「環境保護に役立宣言」の取組み

2009年度より「環境」に対する社会貢献活動の一環として環境保護団体へ寄付する制度「環境保護に役立宣言」を実 施しており、2014年度も静岡県地球温暖化防止活動推進センターへ寄付金を贈呈いたしました。

寄付金は、静岡県地球温暖化防止活動推進センターが行う静岡県内の地球温暖化対策事業への支援活動や、県民運動 「ふじのくにエコチャレンジ ACTION+」 などに活用されます。

【環境に配慮した事業運営】

〈静岡ろうきん〉は、限りある資源や暮らしやすい環境を未来へ残すため、環境に配慮した事業運営に取組んでいます。 取組開始当初と比較し、電力・ガス・事務用紙の年間使用量削減を実現しています。

| 2007年度実績(取組開始当初) | | | | |
|------------------|--------------|--|--|--|
| 取組事項 | 使用実績 | | | |
| 電力 | 3,349,715kWh | | | |
| ガス | 77,114 m³ | | | |
| 事務用紙 | 14,432,000枚 | | | |



| 20 | 13年度実績 | |
|------|---------------|-------------|
| 取組事項 | 使用実績 | 比較 |
| 電力 | 2,708,921 kWh | △640,794kWh |
| ガス | 63,428 m³ | △13,686 m³ |
| 事務用紙 | 14,044,000枚 | △388,000枚 |

〈静岡ろうきん〉は

就活の

就職が決まった新卒予定の学生 ★ を全力で応援します!

次は何しよう!

働く仲間とそのご家族を応援する〈静岡ろうきん〉では、来春社会人として働きはじめる 就職内定者の皆様(※)にご利用いただける「就職内定者応援ローン」を取扱っております。

※ ご融資対象者は、静岡県内に居住、もしくは静岡県内の企業への内定が決まった新卒予定者です。



商品に関するご質問やご相談予約は、フリーダイヤルもしくは最寄の営業店までお問い合わせください。





インターネットホームページ http://shizuoka.rokin.or.jp

静岡ろうきん半期ディスクロージャー 2014年11月 発行:静岡県労働金庫

〒420-0851 静岡市葵区黒金町5番地の1 TEL (054) 221-6100

